

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 07 効率的な汚水処理施設の整備

施 策 : 02 下水道経営基盤の充実

施策担当職・氏名 | 下水道課 総括主査 久保 雪子

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

・下水道供用開始区域内の接続率の向上により、下水道事業の財政基盤の確立を図って参りました。今後も供用後の確実な下水道への接続と使用料の回収に取り組んで参ります。

・コスト縮減、不明水対策等に取り組むことで、下水道事業の経営の健全化を図って参りました。経営状況分析を踏まえ、より一層の健全経営に取り組んで参ります。

(2) 施策目標値の達成状況

| No | この施策に関わる施策目標指標 | 基準値 | 上：戦略目標見込値／下：達成値 | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|----|---------------------------------|------|-----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | | |
| 1 | 暮らし 暮ら し 単 位 % | 1 | △1.1 | △1.1 | △1.1 | △0.7 | △0.7 | - |
| | | | 0.5 | 0.6 | 0 | - | - | 0.0 |
| 2 | 幸福 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単 位 % | 74.2 | 75 | 75.7 | 76.4 | 77 | 77.7 | - |
| | | | 72.3 | 0 | 0 | - | - | 0.0 |
| | 単 位 | | | | | | | |

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

| No | 事務事業名 事務事業目標指標 | 推 移 | 平成28年度 | 平成29年度 (見込) | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 4 年 後 |
|----|--|-----|--------|----------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 1 | 13796 滝沢市水洗便所改造資金利子補給事業 水洗化人口 単 位 人 (累計) | 目標値 | 33,798 | 34,343 | 34,632 | 35,098 | 35,563 | 36,013 | 0 |
| | | 実績 | 35,219 | 0 | - | - | - | - | - |
| 2 | 13797 滝沢市水洗便所設置費補助事業 水洗化人口 単 位 人 (累計) | 目標値 | 33,798 | 34,343 | 34,632 | 35,098 | 35,563 | 36,013 | 0 |
| | | 実績 | 35,219 | 0 | - | - | - | - | - |
| 3 | 13798 滝沢市水洗便所改造資金貸付事業 水洗化人口 単 位 人 (累計) | 目標値 | 33,798 | 34,343 | 34,632 | 35,098 | 35,563 | 36,013 | 0 |
| | | 実績 | 35,219 | 0 | - | - | - | - | - |
| | 単 位 | 目標値 | | | | | | | |
| | | 実績 | | | | | | | |
| | 単 位 | 目標値 | | | | | | | |
| | | 実績 | | | | | | | |

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 07 効率的な汚水処理施設の整備

施 策 : 02 下水道経営基盤の充実

施策担当職・氏名 | 下水道課 総括主査 久保 雪子

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

- ・下水道事業の財政基盤の確立には、供用開始後の確実な下水道への接続と使用料の確実な回収が求められますが、景気の低迷や高齢化などにより、下水道への接続率の低下が懸念されています。
- ・地方公営企業法適用により、経営状態がより明確に把握できるようになっています。流動化率の向上により、一層の経営基盤強化が図られると考えています。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

- ・建設資材や工事作業員人件費の等の高騰や少子高齢化の影響から、接続率の低下が懸念されており、これらの多様化する住民ニーズの変化への対応が求められています。
- ・下水道事業を地方公営企業法適用化することや、下水道事業経営戦略の策定により、収支バランスを重視した下水道事業経営を図ることが求められています。

(3) 基本施策との関連性

下水道事業の財政基盤強化には、供用開始後の確実な使用料の回収だけでなく、不明水対策の推進等、徹底したコスト削減が求められ、そのことで、効率的な汚水処理施設の整備が図られるものと考えます。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・収入確保のため、未水洗化住宅等の下水道への接続につながる制度を周知し、水洗化率の向上を図ります。
- ・コスト削減及び経営基盤強化に向け、不明水対策を推進します。
- ・下水道使用料見直しによる収支の状況を検証し、安定した経営保持に努めます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

- ・下水道供用開始後の受益者負担金等及び下水道使用料の確実な回収
- ・不明水対策の推進による徹底したコスト削減
- ・柔軟な財政運用を実現する短期的債務に対する支払能力の向上

(3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

受益者負担金等及び下水道使用料の確実な回収を最優先とし、費用対効果を考慮した収入拡大に努めます。

